

# 小倉山の森林再生に向けた事業計画（後期計画） 概要版

## <森林再生の方向性>

後期計画は、小倉山の市有林を対象に、森林景観や森林環境の調査・分析を行った結果を踏まえ、森林再生に向けた事業計画の後期5箇年（平成30年度～平成34年度）の整備エリアを抽出し、森林再生の基本的な考え方を示したものである。

前期計画では、主に山麓寺院の背景となる森林の再生を行い、陽の当たる明るい森で開花するコバノミツバツツジが咲き誇る環境へと変化した。こうした明るく美しい森林は、山麓寺院の背景林として、景観の価値を高めるとともに、さらには、登山者や外国人観光客が小倉山に足を運ぶ要因となり、小倉山全体が観光地として活性化している。

後期計画では、こうした自然的、社会的な変化を踏まえ、「魅せることと保全することを形にし、森林の再生を観光の推進につなげる」を目標に森林再生を進めていく。

## <森林再生の課題>

- 課題①** <消失する恐れのある竹林の維持>  
シカやイノシシによる筍の被害、重要種（※）の保全という観点から竹林景観と環境を維持することが課題である。
- 課題②** <小倉山の適地適木であるヒノキ林景観の再生>  
ヒノキは浅根性樹木で定期的な間伐が行われていない不良木は根の張りが十分でなく土壌緊迫力が弱いことから地すべりを起こしやすい。適地適木のヒノキを健全に育て、魅せる森林景観づくりを行うことが課題である。
- 課題③** <山麓寺院の背景林として価値の高いアカマツの継続的な維持管理>  
アカマツは山麓寺院からの借景景観として非常に価値が高い。継続的に維持管理を行いながら、重要種マツグミの保全とともにアカマツ林景観を再生することが課題である。
- 課題④** <保津川沿いの森林景観の向上>  
観光動線である保津川沿いを魅せる森林景観づくりが必要である。しかし、急傾斜地であることから植栽種（四季を彩る機能を備えた）の自然治山機能により斜面を安定させることが課題である。
- 課題⑤** <衰退したアカマツ林の後に優占するソヨゴの伐採>  
アカマツが枯死した跡にソヨゴが優占した森林となっている。ソヨゴは浅根性樹木であるとともに鬱閉した景観となるため、防災的、景観的に課題である。

（※）重要種：京都府内の絶滅のおそれのある野生植物

<小倉山 後期計画の森林再生の方向性>  
**魅せることと保全することを形にする**  
～森林の再生を観光の推進につなげる～



## <森林再生のポイント>

- 課題① 再生のポイント → ● 竹林を魅せる × 希少種の保全 …… 観光として魅せる竹林を維持しながら重要種の生育地保全を図る
- 課題② 再生のポイント → ● ヒノキ林を魅せる × 間伐整備・斜面の安定化 …… 針広混交林化を図り四季を感じる森林景観として魅せながら斜面の安定化を図る
- 課題③ 再生のポイント → ● アカマツ林を魅せる × 希少種の保全 …… 借景景観としてのアカマツ林の再生を図りながら、重要種の生育地保全を図る
- 課題④ 再生のポイント → ● モミジを魅せる × 保津川沿いの斜面の安定化 …… 四季を彩りながら、斜面の安定化を図るモミジの森林景観づくりを行う
- 課題⑤ 再生のポイント → ● シイ林やソヨゴ林の林相改善 × 斜面の安定化 …… ソヨゴなど浅根性樹種の林相改善を行いながら、四季彩のある登山道として整備を行う

## <魅力の向上 × 森林の保全 整備の一例>

後期整備エリア-①（景観・防災配慮ゾーン-1）  
● アカマツ林を魅せる × 希少種の保全

整備イメージ  
整備前

整備後

- ・ 枯死木の除去、及び亜高木層、低木層で優占するソヨゴ等の伐採を行う。
- ・ 下層にはコバノミツバツツジ等を植栽し、アカマツ林に相応しい森林景観の再生を図る。
- ・ 眺望景観に配慮した整備と植栽を行う。また、マツグミ（重要種）の保全も図る。

後期整備エリア-②（景観・防災配慮ゾーン-2）  
● シイ林やソヨゴ林の林相改善 × 斜面の安定化

整備イメージ  
整備前

整備後

- ・ 林床に光が入るようにコジイ等の伐採を整備を行う。
- ・ 亜高木、低木層にみられる常緑広葉樹は基本的には伐採を行う。
- ・ 四季の彩りが実感できる植栽を行う。

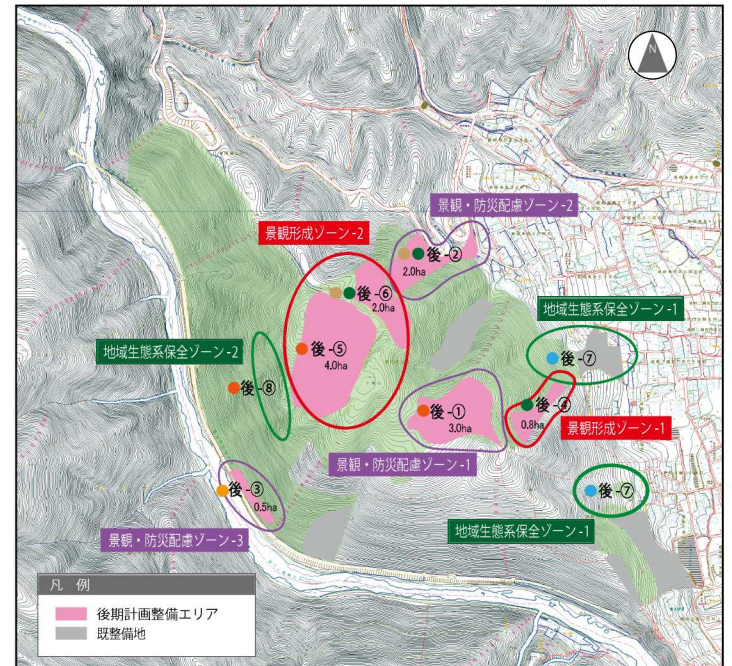
後期整備エリア-③（景観・防災配慮ゾーン-3）  
● モミジを魅せる × 保津川沿いの斜面の安定化

整備イメージ  
整備前

整備後

- ・ 枯死したコジイの伐採を行う。
- ・ 谷筋の急傾斜地を安定させる目的でヒロハモミジなどの植栽を行う。

## <後期計画整備エリアと事業のスケジュール>



	年 次						関連する取組内容
	整備エリア						
	後-① 3.0ha	後-② 2.0ha	後-③ 0.5ha	後-④ 0.8ha	後-⑤ 4.0ha	後-⑥ 2.0ha	
6年目 (H30年度)	間伐	事前協議 嵐山・高麗 ハクウエイと					★①の整備地にアカマツ（H25植樹地）を移植 ★①の整備地に低木の花木を植栽（植樹イベント）
7年目 (H31年度)	植栽			間伐・植栽			★①の整備地に低木の花木を植栽（植樹イベント）
8年目 (H32年度)		間伐・植栽	の維持管理 「フレクスニール」		間伐・植栽		★⑤の整備地に低木の花木を植栽（植樹イベント） ★②の整備地では専門家による植栽
9年目 (H33年度)						間伐・植栽	★⑥の整備地を明るい森林に再生（植樹イベント）
10年目 (H34年度)			間伐・植栽			間伐・植栽	★⑥の整備地を明るい森林に再生（植樹イベント） ★③の整備地では専門家による植栽